円は何人分の原資か。また、19年度の新生児出生数の見込みは何人か。

答（戸野福祉保健課長）
国民健康保険の被保険者11人分を計上している。これは、19年度の8ヶ月間の平均から算出したもの。町全体の新生児は19年度2月末現在で86人である（18年度は180人）。

保育所

問（森田議員）
保育所管理事務費が前年度比較で8、000万円の減額だが、極端な減額でいろいろな所にしわ寄せが来て、支障が出るのではないか。

答（高木幼児教育課長）
昨年の当初予算に比較して、所長の人数と調理師の人数が異なり、合計で6人減となる。

答（狩野教育次長）
現在数園を兼務する所長がいて、さらに、所長補佐がリーダーとして、保育所の運営や乳幼児クラスの補助担任をやっている。臨時職員を追加して、所長補佐は専任の所長に位置づけ、全体の運営をしていける体制にしたい。

少し緊張、ドキドキするなぁ（名和保育所）

予防接種

問（西尾議員）
2、000万円は6種類の予防接種委託料ということであるが、鳥インフルエンザへの対策は。

答（戸野福祉保健課長）
大きな被害が出るということで、県ではマニュアル作りが進められている。町村では、19年度関係部署の担当者に図上訓練があった。しかし、保健福祉部門と産業部門両方に関わりが有り、町では具体的な取り組みまでは進めていない。

農業委員会

問（秋田議員）
農業委員会の活動が分からないという町民からの意見が多い。機関紙などでPRするなど、もっと農家のために頑張ってほしい。

答（高見農業委員会事務局長）
町民や認定農業者からいただいたご意見等を参考にしながら、広報活動、農地相談日の設定、農業者年金の加入促進等を実施していきたい。

果樹

問（澤田議員）
果樹共済掛金農家負担助成補助金が15％から10％に減額となった。梨は県の特産品であり、厳しい経営の果樹農家存続のためにも、従来の助成が望まれるが。また、梨の苗木助成金は。

答（田中総務課長）
他の農産物との兼ね合いもある。行財政改革を進めなければならない状況の中で、理解いただきたい。

答（池本農林水産課長）
苗木助成金は、特産果樹振興事業で産地作りを目的に、梨8品種（ゴールド20世紀・おさゴールド・秋栄・あきづき・夏さやか・なつひめ・涼月・新甘泉）、りんご、ブルーベリーに1／3を補助するもの。

森林

問（荒松議員）
森林巡視を委託しているが、名和地区でアオモジという樹木が繁殖し、人工造林が荒れた状況のところがある。また、水源涵養保安林の松が枯れ、無残な光景になっている。森林巡視の責務を果たしているのか。職員で出来ないのか。

答（池本農林水産課長）
巡回する面積が495haと広大で職員では無理であり、専門の森林組合へ委託している。
現地の状況を確認し、アオモジについては森林組合と、保安林については県と対策を協議したい。

荒れたまま放置された森林